

第3学年 音楽科学習指導案（略案）

○組 計 39人
指導者 ○○ ○○

1 題材 みんなで合わせよう

教材 「あの雲のように」 芙龍明子 作詞 作曲者不明（本時主教材）
「パフ」 芙龍明子 作詞 ピーター ヤーロウ・レナード リプトン 作曲
◎「二人でおどりましょう」 フンパーディンク 作曲

2 本時（1／6）

(1) 目標

ア お互いの音の重なりを感じ取って、部分二部合唱をすることができる。【知識及び技能】

イ 歌詞の様子を思い浮かべながら、部分二部合唱する活動に進んで取り組むことができる。

【学びに向かう力，人間性等】

(2) 本時の展開に当たって

子供たちにとって二部合唱は初めての経験である。そこで、子供たちが無理なく合唱の活動に取り組み、成就感や達成感を味わうことができるようにするために、音の重なり遊びを取り入れたり、最初の音の重なりを伸ばして歌わせたりして、音の重なり合いを感じ取ることができるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 「あの雲のように」の範唱を聴き、本時の学習について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ふんわりとかぶ雲のようすを思い浮かべて、合唱しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりと雲が流れていく感じの歌だな。 ・ 4行目は、二つの声が重なっていたよ。 	(分) ↑ 10 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表したい雲のイメージを明確にもつことができるように、「歌を聴いて、どんな感じの雲が頭に浮かんできたかな」と、問いかけるようにする。 ○ 旋律把握が確実にできるように、1段ずつ教師のあとにつけて模唱させるようにする。 ○ 歌詞や歌詞の表す様子からイメージを膨らませ、歌い方と結び付けるようにするために、イメージに合っていない声質での歌を聴かせ「みんなのめざす雲の様子が出ているかな」と問いかけるようにする。
課題追求 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">旋律把握</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">表現の工夫</div>	2 歌詞唱し、歌詞の様子に合った歌い方について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふんわりとかぶ」だから、やわらかい声の方がいいよ。 ・ 「遠い海をこえて」だから、遠くまで届くような気持ちで歌った方がいいよ。 	↑ 30 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いの音の重なりを感じ取ることができるようにするために、重なり遊びを取り入れたり、最初の音の重なりを伸ばして歌わせたりする。また自分のパートだけでなく、もう一方のパートもよく聴いて歌うように助言する。
相互発表・鑑賞	3 二部合唱をする。 (1) ②のパートを歌詞唱する。 (2) ①のパートと重ねて合唱する。 (3) 列ごとに分かれ、合唱する。 (1・3列・・・上, 2・4列・・・下)	↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の合唱のよさを発見し、認め合うことができるようにするために、1・2列と3・4列でお互いの合唱を聴き合う活動を取り入れるようにする。
まとめ	4 列ごとに合唱を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上と下の二つの音がきれいに重なり合って、歌っていました。 5 本時の学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふんわりと浮かんでいる雲の様子を思い浮かべて、歌うことができました。 ・ 下のパートの声で歌って、合唱することができました。 	↓ 5 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習を振り返ることができるようにするために、わかったことや工夫したこと、できるようになったことを中心に発表させるようにする。